# 希望の国（2012）

**メディア** 映画
**ジャンル** ドラマ
**製作国** 日本／イギリス／台湾
**色彩** Color
**時間** 133分
**初公開日** 2012/10/20
**公開情報** ビターズ・エンド
**映倫** G

**【キャッチコピー】**
それでも世界は美しい

突然おとずれた不安、痛み、苦しみ、別れ……
ただ、愛するものを守りたい

**【解説】**
古谷実原作コミックを映画化した前作「ヒミズ」で舞台を震災後の世界に置き換えて描いた園子温監督が、今度は震災と原発事故をテーマの中心に据え、被災地での入念な取材の末に撮り上げた渾身の社会派ヒューマン・エンタテインメント。地震によって原発事故が発生した架空の町を舞台に、未曾有の事態に巻き込まれ、不条理な仕打ちに翻弄されながらも必死に生きるある家族の姿を、詩情溢れる映像とともに力強く描き出していく。出演は夏八木勲、大谷直子、村上淳、神楽坂恵、清水優、梶原ひかり。
東日本大震災から数年後の日本。長島県で酪農を営む小野泰彦は、妻の智恵子と息子夫婦と穏やかな日々を送っていた。そんなある日、長島県東方沖を震源とする巨大地震が発生する。やがて長島第一原発が事故を起こし、原発から半径20km圏内が警戒区域に指定されると、ギリギリで圏外となった小野家に対し、隣家の鈴木家は強制退避を命じられることに。自らは残る決断をした泰彦も、国家はあてにならないと、息子の洋一には夫婦で自主避難するよう説得する。その後、避難先でおめでたが判明した洋一の妻は、次第に放射能への恐怖を募らせていく。一方、避難所生活を強いられている鈴木家では、長男ミツルが恋人ヨーコと一緒に、消息の掴めない彼女の両親を探して海沿いの町を彷徨い歩いていた。

**【クレジット】**

| | |
|---|---|
| **監督** | 園子温 |
| **プロデューサー** | 定井勇二 |
| | 國實瑞恵 |
| | 汐巻裕子 |
| **ラインプロデューサー** | 鈴木剛 |
| **脚本** | 園子温 |
| **撮影** | 御木茂則 |
| **美術** | 松塚隆史 |
| **衣裳** | 川崎健二 |
| | 新井正人 |
| **編集** | 伊藤潤一 |
| **キャスティング** | 杉山麻衣 |
| **録音** | 小宮元 |
| **照明** | 松隈信一 |

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

| | | |
|---|---|---|
| **スクリプター** | 貞木優子 | |
| **整音** | 深田晃 | |
| **装飾** | 石毛朗 | |
| **制作担当** | 竹岡実 | |
| **ヘアメイク** | 本田真理子 | |
| **ＶＦＸディレクター** | 馬場革 | |
| **助監督** | 吉田聡 | |
| **出演** | 夏八木勲 | 小野泰彦 |
| | 大谷直子 | 小野智恵子 |
| | 村上淳 | 小野洋一 |
| | 神楽坂恵 | 小野いずみ |
| | 清水優 | 鈴木ミツル |
| | 梶原ひかり | ヨーコ |
| | 菅原大吉 | 志村（町役場職員） |
| | 山中崇 | 加藤（町役場職員） |
| | 河原崎建三 | 産婦人科医 |
| | 筒井真理子 | 鈴木めい子 |
| | でんでん | 鈴木健 |
| | 浜田晃 | |
| | 大鶴義丹 | |
| | 松尾諭 | |
| | 吉田祐健 | |
| | 並樹史朗 | |
| | 米村亮太朗 | |
| | 吹越満 | |
| | 伊勢谷友介 | |
| | 手塚とおる | |
| | 田中壮太郎 | |
| | 本城丸裕 | |
| | 深水元基 | |
| | 大森博史 | |
| | 占部房子 | |
| | 井上肇 | |
| | 堀部圭亮 | |
| | 田中哲司 | |

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.